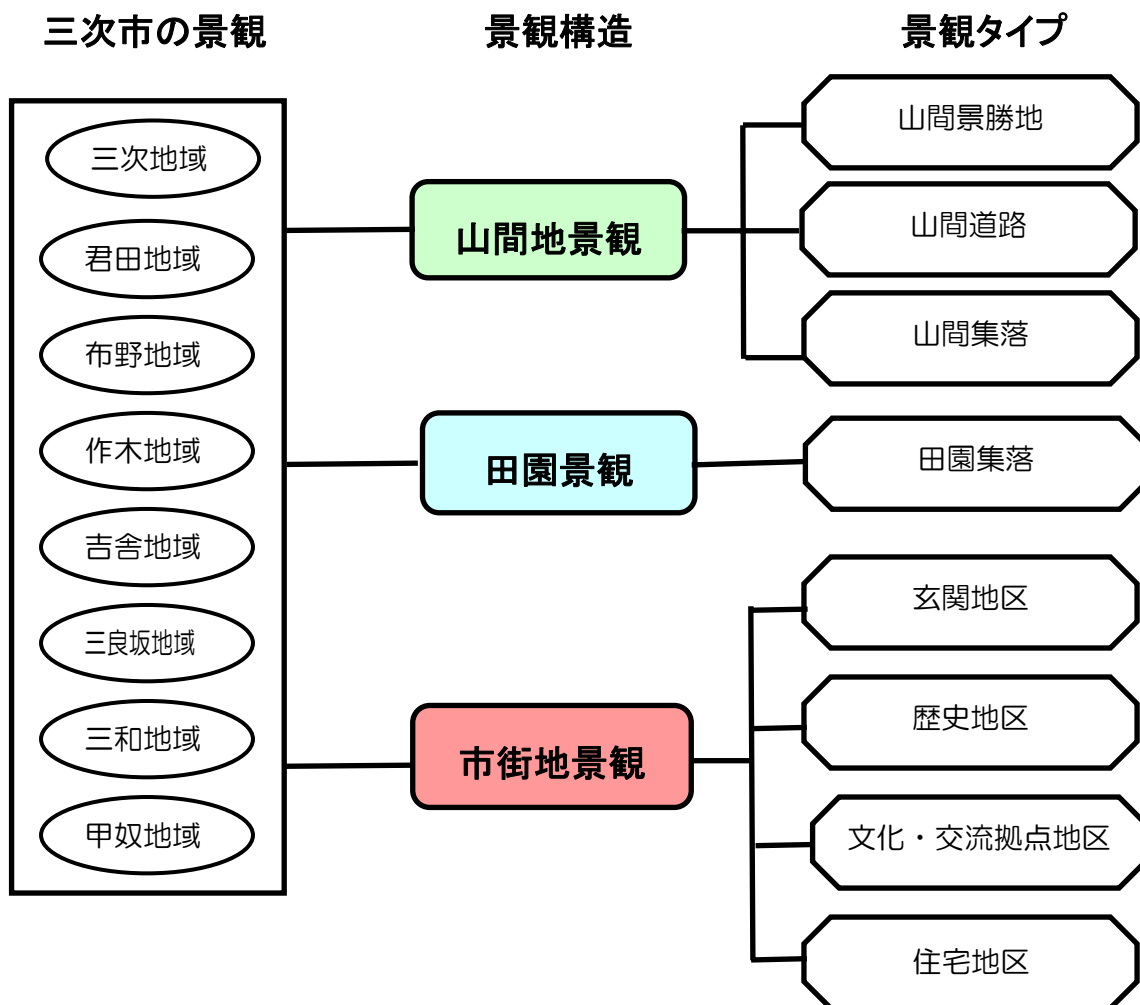


## § 2 景観計画区域における良好な景観の形成に関する事項

### 2-1 景観構造と景観タイプ

#### (1) 景観の体系図

三次市の景観を以下のような分類に基づき、地域の景観特性の把握の整理を行いました。



## (2) 景観構造の定義

### ■ 山間地景観

山間地景観とは、樹林の多いタイプとします。

三次市においては面積の約 8 割が山地であり、また標高 200m 以上の山間部が大部分を占めていることから、山地が三次市の重要な景観要素のひとつであるといえます。また、様々な地形の変化が多くみられることが特徴となっており、樹林の多い山間の景観を山間地景観とします。

### ■ 田園景観

田園景観とは、田畑が多いタイプとします。

三次市の周辺部は山間が主体ですが、その中で幹線道路や川沿いに広がる田畑などは、農業に従事する多くの市民の生活を表す景観要素です。三次市の田畑は平地が少ないという地形的特徴から、多くは段々畑や、谷津などの形態をとっており、山の裾野や谷、川沿いに位置しています。車による移動など、視点の動きは少なく、面的な広がりの中で見ることの出来る農の景観を田園景観とします。

### ■ 市街地景観

市街地景観とは、住宅、商店などの建築物が多いタイプとします。

住宅や商店といった人の手による建築物はその土地に住む人の特徴や個性を表すものです。三次市では三次地域を中心とした市街地や各支所周辺を中心として広がっている住宅地など、山間地、田園に分類されない面的な部分を市街地景観とします。市街地においても田園同様、視点の移動による変化を楽しむ景観よりも、その場所ごとの特長や趣を対象とした眺めが存在し、それらの景観を市街地景観とします。

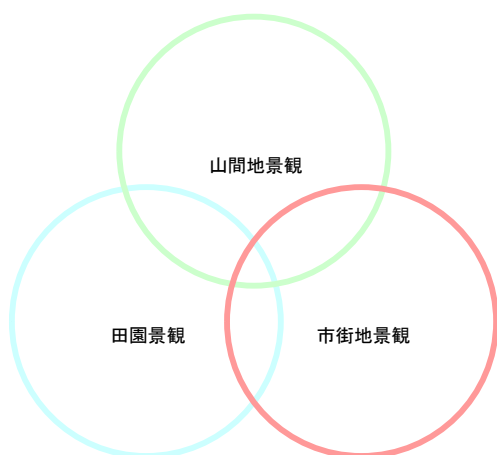


図 2-1 三次市の景観構造

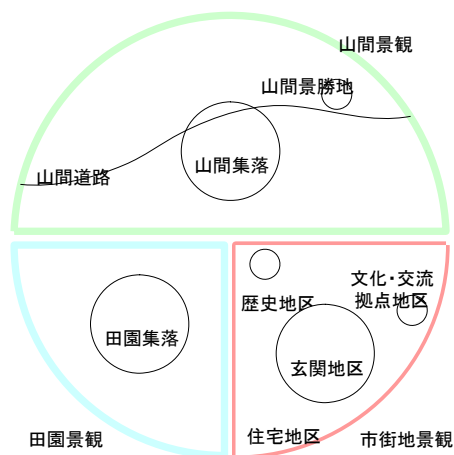


図 2-2 景観タイプ分類

### (3) 景観タイプの定義

各景観構造の中で、類似する景観を同一の景観タイプとします。

No.	景観タイプ	景観タイプの特徴	イメージ写真
<b>■山間地景観</b>			
1	山間景勝地	山間地景観のなかで「特別に趣のある場所」で、その場所そのものの自然や地形などに魅力のある景観	
2	山間道路	山間地景観の主体となる景観タイプ。地形の変化を楽しめる、道路上の車などによる「移動する視点」に伴い変化を楽しめる景観	
3	山間集落	山間地景観のなかで「日常生活の視点」で捉えた景観タイプで、山間地を背景に、住宅が建ち並ぶ景観	
<b>■田園景観</b>			
4	田園集落	面的に広がる田園景観の中で「日常生活の視点」から捉えられる景観タイプで、田園（耕作地）を背景に住宅が建ち並ぶ景観	
<b>■市街地景観</b>			
5	玄関地区	鉄道や幹線道路など、多くの人の動きがあり、来訪者をもてなす空間の景観	
6	歴史地区	歴史的趣を残す建築物が集中する、あるいは歴史的に重要な地区特性を持つ空間の景観	
7	文化・交流拠点地区	住民のレクリエーションや文化、芸術、観光に関する資源及び施設が多く集まる空間の景観	
8	住宅地区	地域住民の身近な生活の場の景観	

## 2-2 地域の景観特性と景観形成の方向

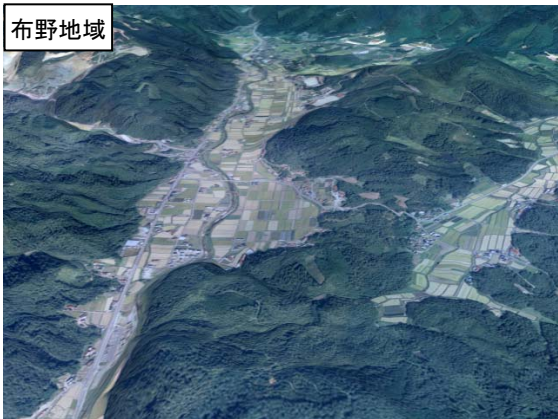
三次地域



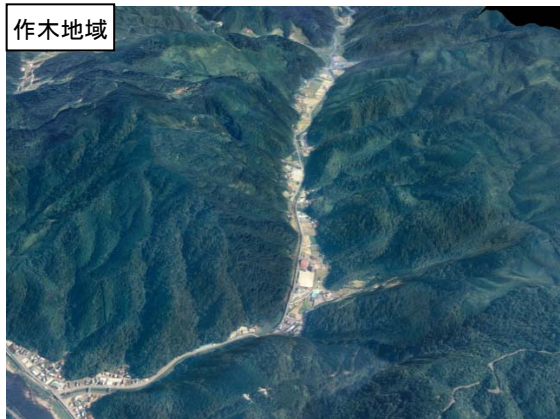
君田地域



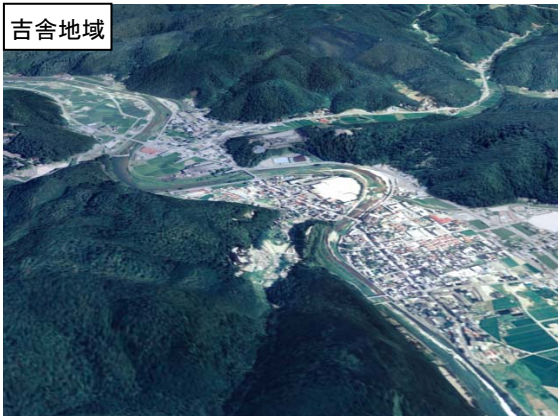
布野地域



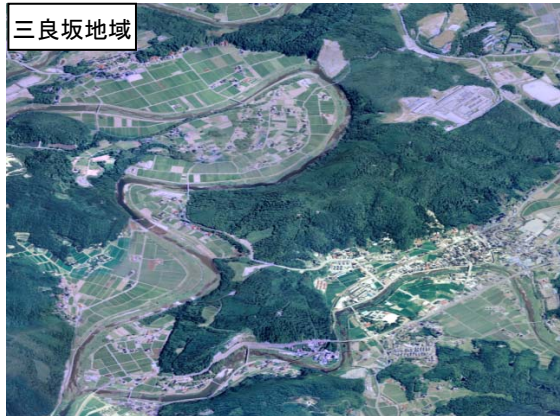
作木地域



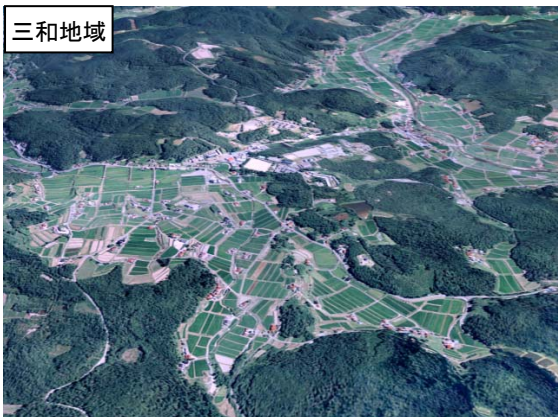
吉舎地域



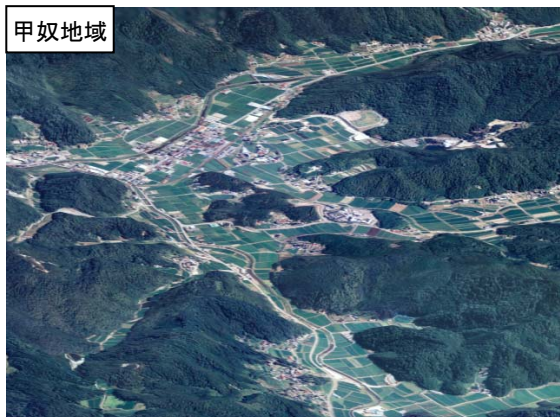
三良坂地域



三和地域



甲奴地域



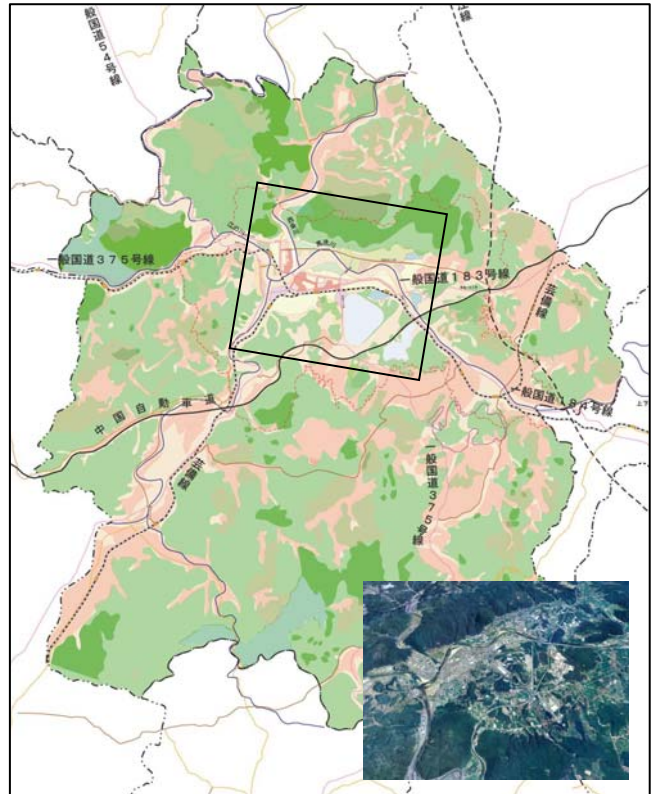
## (1) 三次地域の景観特性

### ① 地域の特徴

市の中心部に位置し、山地・丘陵が地域の面積の約75%を占めており、河川を中心に平坦地が広がりますが、東南部は傾斜の緩い丘陵地となり、比較的高地が多くなっています。

河川は、芸北の山々に源を発する江の川が、比婆山からの西城川、世羅台地からの馬洗川と地域の中心部で「巴状」に合流しています。その水辺の空間は貴重な自然資源として、潤いとやすらぎの場となっています。盆地内が深い霧に包まれる幻想的な「霧の海」がみられます。

道路・鉄道とともに陰陽連絡の交通が交差し、三次地域を中心に放射状に拡散する交通体系となっています。東西の大動脈として中国縦貫自動車道、陰陽を結ぶ国道54号、国道183号、国道184号、国道375号、そして国道433号の5路線が集中しています。鉄道は芸備線、福塩線、三江線の3線があり、経済、産業、生活を支える交通網を構成しています。



### ② 景観の特徴

#### (山間地)

- ・ 河川に沿って蛇行し、地形の変化や季節の変化に加え、溪流などの景勝地の景観が楽しめます。
- ・ 山間に沿って起伏に富んだ幹線道路が延び、視点の変化が楽しめる山間景観と、山あいから望む田園景観が楽しめます。
- ・ 広島県立みよし風土記の丘の古墳群など、歴史的な景観資源が保全されています。



#### (田園)

- ・ 地域の外縁部には、中国山地の山麓に、白壁に黒瓦や赤瓦屋根の集落が点在する伝統的な農山村の景観が数多く残っており、豊かに広がる田園と、江の川、馬洗川、西城川、美波羅川などの水辺景観と相まって、特徴ある三次の景観を形成しています。



#### (市街地)

- ・ 三次町には歴史的な町家が多く残る景観がみられます。
- ・ 盆地であるため、市街地の背景には、高谷山、比熊山、比叡山などの山林が連続した緑の空間を形成し、都市と自然が融合する魅力のある景観が特徴です。
- ・ 国道184号や県道和知三次線沿道では、屋外広告物の多い煩雑な景観がみられます。
- ・ 田園のなかに新しい住宅の整備が進み、伝統的な家屋と新しい住宅が混在する景観がみられます。
- ・ 市街地にある河川は、都市の骨格を形成するとともに、潤いのあるやすらぎの空間が感じられる景観を形成しています。
- ・ 奥田元宋・小由女美術館、広島三次ワイナリー、みよし運動公園などの観光やレクリエーションエリアとして景観の創出がみられます。



### ③主な景観（観光）資源

尾関山、高谷山、比熊山、岡田山、鳳源寺、岩屋寺、広島三次ワイナリー、広島県立みよし風土記の丘、歴史民俗資料館、尾関山公園、若宮公園、県立みよし公園、みよし運動公園、奥田元宋・小由女美術館、三次市福祉保健センター、巴橋、サクラ、モミジ、覚善寺のイチョウ、三次の鶉飼、霧の海

### ④景観形成の方向

#### (山間地)

- ・ 広島県立みよし風土記の丘の古墳群など歴史的な景観資源の保全
- ・ 国道54号などの幹線沿道の山林は、緑豊かなまちの景観を印象づけるために斜面林の保全

#### (田園)

- ・ 地域の外縁部の田園集落においては、白壁に黒瓦や赤瓦屋根などの伝統的な建築物などの継承
- ・ 豊かに広がる田園の維持
- ・ 潤いをもたらす馬洗川などの水辺空間においては、自然を活かすために人工物の存在感の抑制

#### (市街地)

- ・ 三次駅前周辺地区は、玄関口にふさわしい印象となる統一感のある街並み景観の形成
- ・ 三次町・尾関山公園・三川合流部は、建築物・工作物の色彩に配慮し、四季を感じる緑化を行うなど、観光の場にふさわしい景観の形成
- ・ 三次町の歴史的な街並みや建造物の再生・保全
- ・ 周囲と調和を図る統一感のある屋外広告物の配置と形状
- ・ 市街地の背景となる山林の保全
- ・ 奥田元宋・小由女美術館、広島三次ワイナリー、みよし運動公園の文化・交流拠点としての景観の創出

## (2) 君田地域の景観特性

### ① 地域の特徴

市の北部に位置し、南北に細長い地域です。面積の87%が山林となっています。神野瀬川が地域の中央を南北に縦貫し、耕地は流域に沿って南部に拡大しています。

道路網は、南北に県道三次高野線・県道下門田泉吉田線が縦貫しています。また、東入君地区より西に向かって、石原地区を經由し、県道庄原作木線が通っています。

### ② 景観の特徴

#### (山間地)

- ・ 神野瀬川沿いは、豊かな自然環境と和瓦屋根、石垣のある民家が点在し、生活の営みを感じさせる景観となっています。
- ・ 神野瀬川に沿って、蛇行を繰り返す変化に富んだ山間景観を楽しむことができます。

#### (田園)

- ・ 南部は、比較的緩やかな山並みの裾野に連なる赤瓦屋根、石垣で囲まれた民家と開放的な田園景観が多くなっています。
- ・ 夏には一面に輝くひまわり畑の景観がみられます。

#### (市街地)

- ・ 君田支所周辺では、住宅の建設が進み、コンパクトな市街地景観の形成が図られていくことが推測されます。

### ③ 主な景観（観光）資源

神之瀬峡県立自然公園、沓ヶ原ダム湖、沖の原ふれあい農園、森林浴の森キャンプ場、高幡観音、道の駅ふおレスト君田、君田温泉森の泉、はらみちを美術館、ひまわりの畑、たたら鉄穴流しと金屋子神

### ④ 景観形成の方向

#### (山間地)

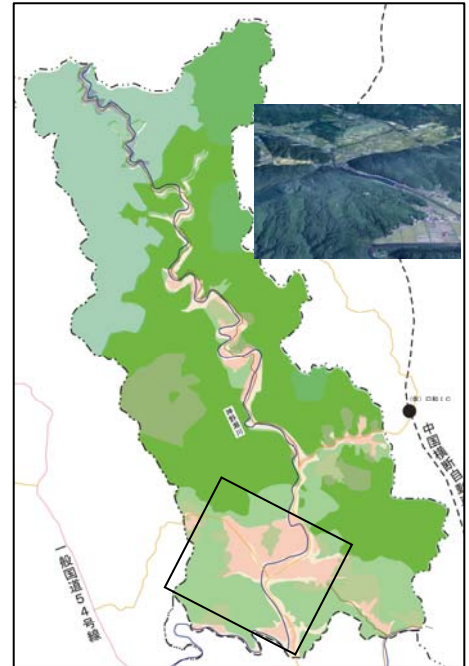
- ・ 景観軸となる神野瀬川の豊かな自然景観の樹林や水源などを含めた自然及び地形の保全

#### (田園)

- ・ 伝統的な和瓦屋根や石垣を活かした営みの田園景観の保全
- ・ 県道三次高野線沿道などの田園集落の空間構成の基本をなす山すその斜面林及び地形の保全

#### (市街地)

- ・ 白壁、勾配のついた屋根、和瓦、石積みなど伝統的な街並み景観の形成



### (3) 布野地域の景観特性

#### ①地域の特徴

市の北部に位置し、山陰と山陽を結ぶ出雲街道に代表されるように、古くから交通の要衝として重要な位置づけをされてきました。現在も、国道54号が南北に貫通し重要な立地特性は今も変わっていません。地域の約90%を占める森林は、美しい自然景観を形成しています。また、北部には溪流である吸谷川が流れています。

#### ②景観の特徴

##### (山間地)

- ・ 「大森銀山」から三次・尾道を結ぶ銀山街道の宿場として拓けてきました。今では南北に貫通する国道54号に多くの車の往来があり、道の駅などに賑わいの景観があります。
- ・ 山間に点在する白壁の民家や茅葺き屋根、石垣が自然景観と調和しています。
- ・ 雪の多い地方であるため板張りの腰壁がある家屋など、自然と共生する営みによる景観がみられます。

##### (田園)

- ・ 豊かな田園と山裾に連なる白壁に赤瓦屋根の里山景観があります。

##### (市街地)

- ・ 中心街には、中村憲吉の生家の白壁の塀、修景した路面舗装により文化的景観がみられます。
- ・ 公共施設には、三角塔屋を設け、統一したイメージづくりがみられます。

#### ③主な景観（観光）資源

女亀山、大仙、八千代滝、上布野二反田逆断層、中村憲吉の文化遺産、知波夜比売神社、石造五輪塔、道の駅ゆめランド布野、フルーツランドふの、フィッシングガーデン吸谷

#### ④景観形成の方向

##### (山間地)

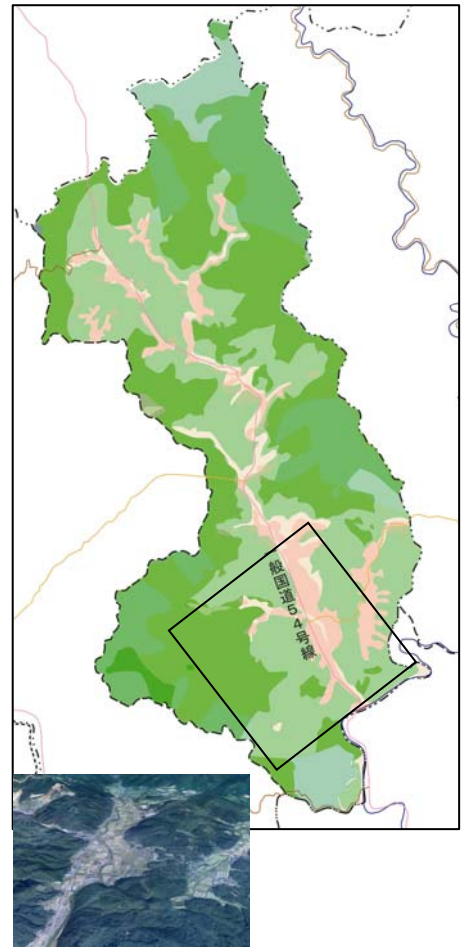
- ・ 国道54号沿い、県道大津横谷線周辺などの幹線沿道の豊かな樹林の保全
- ・ 山間集落の自然との共生を感じる腰壁などの伝統的な形態の継承

##### (田園)

- ・ 自然豊かな里山景観の保全のため、白壁、赤瓦屋根などの伝統的な建築形態や屋根の色彩などの継承
- ・ 空間構成の基本をなす斜面林及び地形の保全

##### (市街地)

- ・ 中村憲吉の生家の文化的景観を中心とした、白壁、勾配のついた屋根、和瓦、伝統と歴史を感じる街並み景観の形成





## (4) 作木地域の景観特性

### ① 地域の特徴

市の北西部に位置し、江の川に沿って南北に細長く伸びています。江の川の支流である8本の河川が急峻な山々を縫って流れ、江の川に注いでいます。起伏の激しい急峻な山々に囲まれ、平坦地は極めて少なく、集落や耕地は谷間に細長く点在しています。

### ② 景観の特徴

#### (山間地)

- ・ 棚田と点在する斜面に立地する民家や和瓦屋根、整然と並ぶ石垣が景観を特徴づけています。
- ・ 江の川沿いは、急峻な山と広い水面とのコントラストが明快な景観となっています。

#### (田園)

- ・ 道路と山林の間に田園が連続し、山裾に集落が点在する自然豊かな里山景観となっています。
- ・ 谷間の棚田を中心とした美しい田園景観があります。

#### (市街地)

- ・ 平地が少ないため、斜面に民家が多く、背面の山並みと調和する白壁に赤瓦屋根や茅葺屋根、石垣が営みを感じさせる集落景観がみられます。

### ③ 主な景観（観光）資源

常清滝、殿敷民家、観光梨園、江の川カヌー公園さくぎ、森山のサイショウガキ

### ④ 景観形成の方向

#### (山間地)

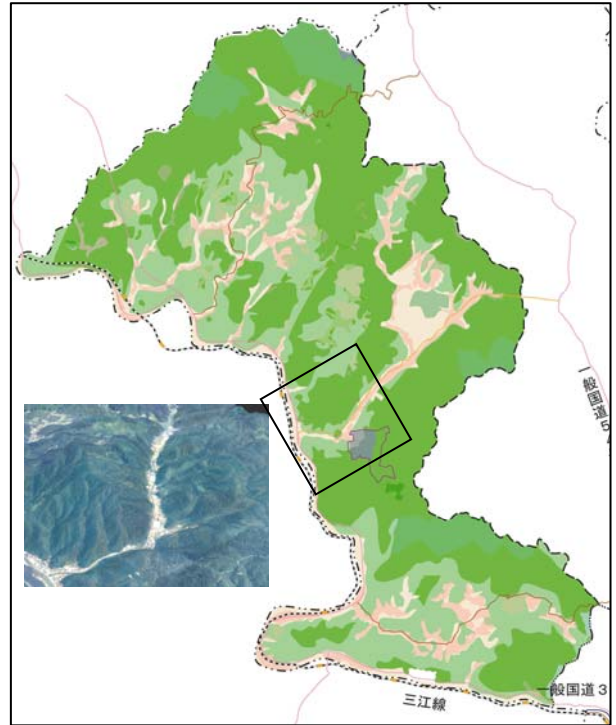
- ・ 江の川や常清滝など美しい自然景観の樹林や水源などを含めた自然及び地形の保全

#### (田園)

- ・ 古くからの自然豊かな里山景観を保全するため、伝統的な建築形態や屋根の色彩などを維持
- ・ 空間構成の基本をなす山裾の斜面林及び地形を保全
- ・ 棚田が織り成す美しい田園の保全

#### (市街地)

- ・ 周囲との調和を図るため、白壁、勾配のついた屋根、和瓦、石積みなどを基調とした景観形成



## (5) 吉舎地域の景観特性

### ① 地域の特徴

市の南東部に位置し、地域の中心部を南北に国道184号が縦断しています。標高200～600mの山林に囲まれた平地の少ない地形となっています。平地部は河川流域の小盆地に展開し、その中央に市街地を形成しています。主要河川の馬洗川が町の中央を南北に貫流しています。また、上下川が町の東部を南から北に流れています。

比較的なだらかな山地に囲まれた里山が残る町です。

### ② 景観の特徴

#### (山間地)

- ・ 蛇行する馬洗川に沿って、集落景観が広がります。
- ・ 比較的なだらかな山並みに囲まれた里山景観がみられます。

#### (田園)

- ・ 北部の国道184号沿道は緩やかな山並みの眺望と開放的な田園景観がみられますが、耕作放棄地もあり景観上の課題となっています。

#### (市街地)

- ・ 市街地では、近世は山陰と山陽を結ぶ宿場町として栄え、歴史的な街並み景観がみられます。
- ・ 吉舎支所周辺は、公共施設などが集積し、地域の拠点としての景観となっています。

### ③ 主な景観（観光）資源

富士山、三玉大塚古墳、奥家住宅、南天山城跡、大慈寺、浄土寺、馬洗川、親水公園、彼岸花の群生地、知和ウエットランド  
ロードサイドミュージアムXa104、吉舎歴史民俗資料館、とみしの里  
吉舎いこいの森、美術館あーとあい・きさ、田中写真館、毘沙門橋

### ④ 景観形成の方向

#### (山間地)

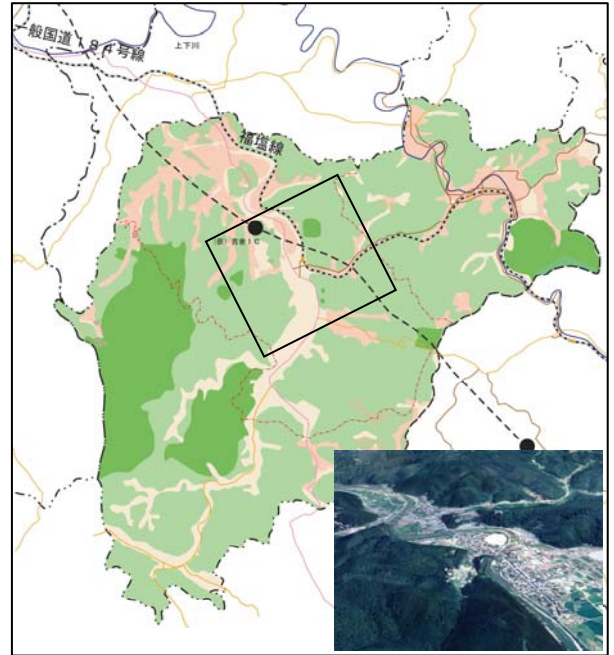
- ・ 馬洗川など美しい自然景観の樹林や地形の保全
- ・ 家屋周辺の山林を保全することによる里山景観の保全

#### (田園)

- ・ 田園の適正な管理などにより、緩やかな山並みの眺望と開放的な田園景観の保全

#### (市街地)

- ・ 歴史的な街並み景観と建造物の保全・再生
- ・ 白壁、勾配のついた和瓦屋根など地域になじむ材料の選定
- ・ 中心部や幹線道路沿いにおける統一感のある景観の形成



## (6) 三良坂地域の景観特性

### ① 地域の特徴

市の東部に位置し、地域の北部は丘陵地であり、そのふもとに田園が広がっています。丘陵地と田園で構成される地域の北半分は農村の景観を保っています。南部は市街地とその近郊地区で構成されています。北部と南部を結ぶ位置に灰塚ダムが整備されています。灰塚ダムによる再建地では建築協定により街並みが形成されました。国道、県道など広域道路が、東西南北方向に2本ずつ貫通しており生活の基盤となっています。

### ② 景観の特徴

#### (山間地)

- ・ 灰塚ダム周辺に向かっては、山間を移動する変化のある道路景観がみられます。

#### (田園)

- ・ 国道184号沿道には、比較的起伏の少ない田園景観が広がり、馬洗川・上下川の桜並木の自然景観がみられます。
- ・ 北部の丘陵地には、ゆったりとした広がりのある田園景観があります。

#### (市街地)

- ・ 出雲大社備後分院境内の神木を含めた周囲には、荘厳な景観が広がっています。
- ・ 三良坂平和公園には、三良坂平和美術館などが立地し、落ち着いた文化的な空間を醸しだしています。
- ・ 三良坂駅周辺は旧道沿いの商店街としての営みを感じさせる伝統的な建物の景観が点在し、秋には菊の花による景観づくりの取り組みがあります。
- ・ 周囲は山並みに囲まれ、馬洗川が流れ、潤いのある市街地景観を感じることができます。
- ・ 区画整理の新しい市街地景観が広がりつつあります。

### ③ 主な景観（観光）資源

知波夜比古神社、出雲大社備後分院、ハイツカ湖畔の森、灰塚ダム、古墳公園、三良坂平和公園、三良坂平和美術館、みらさか竹工房はなかご

### ④ 景観形成の方向

#### (山間地)

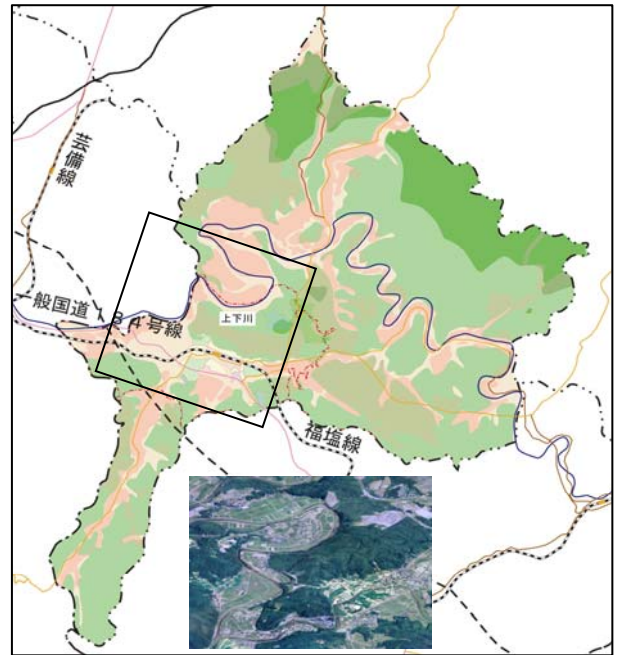
- ・ 灰塚ダム周辺の樹林や地形の保全と落ち着いた水辺の景観形成

#### (田園)

- ・ 広がりのある牧歌的な景観を保全するため、自然及び地形の保全

#### (市街地)

- ・ 三良坂駅周辺は、伝統的な商店街としての統一的な景観の形成
- ・ みらさか土地区画整理事業区域内の調和のとれた良好な新市街地景観の形成
- ・ 周囲の山並みと馬洗川という自然を活かすため、地形の保全と自然環境と調和する建築物・工作物の色彩に配慮



## (7) 三和地域の景観特性

### ① 地域の特徴

市の南部に位置し、比較的丘陵に富み、東西10km、南北12kmで楕円に近い形をしています。南西には標高800mの大土山があり、ここから東方にかけて道宝山、栃ヶ原山、鍛冶屋河内山、天神嶽などが連なり、その山麓が延びた町の北部が丘陵地となっています。東部には町を東西に分けるように美波羅川が流れています。田園は川沿いに開けており、その周辺に集落が点在しています。

### ② 景観の特徴

#### (山間地)

- ・ 国道375号沿いには、美波羅川の溪流・山間の自然景観がみられます。
- ・ 白壁に赤瓦屋根の家屋が多く点在しており、特長のある景観がみられます。

#### (田園)

- ・ 桜並木がある美波羅川に沿って、開放的な田園や高原が広がる、雄大な景観があります。
- ・ 石積みによる畦が特長です。晩秋には、田園に藁積みの景観がみられます。

#### (市街地)

- ・ 白壁に赤瓦屋根の家屋が特徴ですが、三和支所周辺を中心に、新しい沿道集落景観がみられます。

### ③ 主な景観（観光）資源

大土山、道宝山、栃ヶ原山、鍛冶屋河内山、旧佐々木家住宅、国光城址、高八山城跡、鹿岩、西方寺跡、郷土資料館、みわ郷土伝習館、美波羅川の桜並木

### ④ 景観形成の方向

#### (山間地)

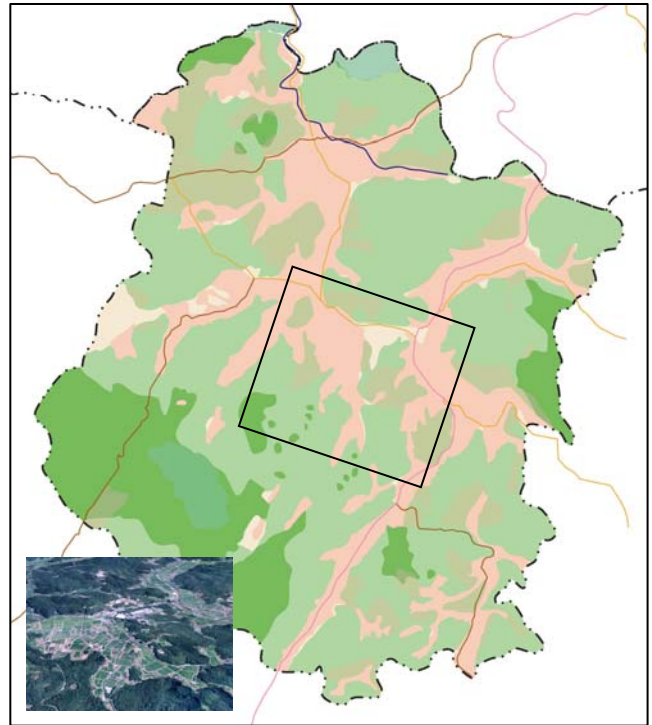
- ・ 美波羅川の溪流・山間の自然景観を活かすため、美波羅川周辺の地形及び樹林の保全

#### (田園)

- ・ 田園や高原を維持し、丘陵地の特徴を活かした開放的な景観の保全

#### (市街地)

- ・ 周辺地域と調和した営みの景観の創出のため、特長的な白壁に赤瓦屋根に調和する建築物などの形態や色彩に配慮



## (8) 甲奴地域の景観特性

### ①地域の特徴

市の南東部に位置し、一部に急峻な峡谷がみられますが、おおむね平坦な内陸盆地的な地形が多く、豊かな田園が広がっています。

耕地や集落は、上下川の支流である小童川、宇賀川、友森川、抜湯川などの谷間に点在しています。

### ②景観の特徴

#### (山間地)

- ・ 品の滝の周囲は、滝、溪流、森林が一体となつたやすらぎのある渓谷美の景観が形成されています。
- ・ 県道では、地形の変化と季節を感じる豊かな自然を眺望できる山間道路景観がみられます。

#### (田園)

- ・ 潤いのある川、豊かな田園、山裾に家屋が並び里山景観が多くみられます。

#### (市街地)

- ・ 商店街を形成しているカーター通りの背後には山並みが見られ、集落と自然が調和する景観がみられます。

### ③主な景観（観光）資源

品の滝、弘法山大山古墳群、窯跡、吉備津神社のサクラ、須佐神社のフジ、ケヤキ、ジミー・カーターシビックセンター、弘法山多目的グラウンド

### ④景観形成の方向

#### (山間地)

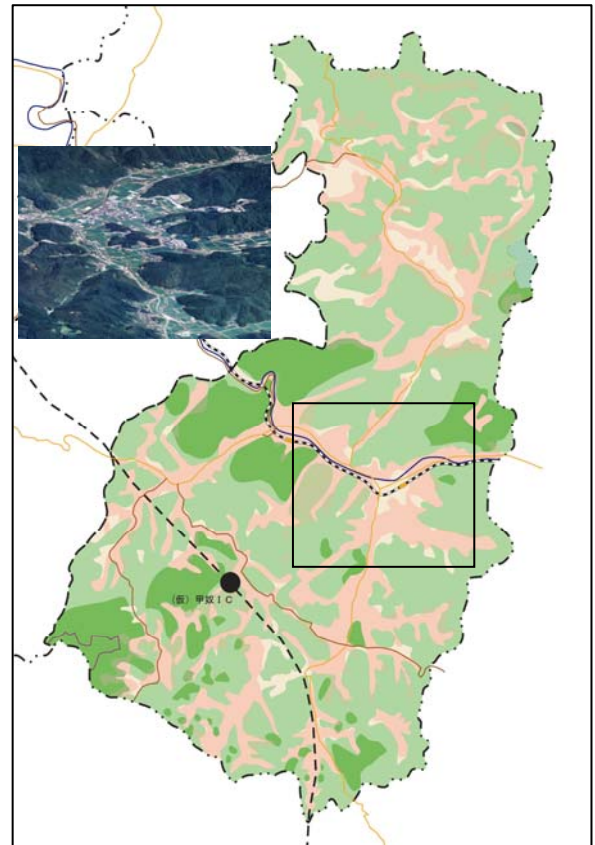
- ・ 品の滝の周辺は、水源や山林などの保全
- ・ 県道甲山甲奴上市線沿道などでは、地形の変化と季節を感じることでできる樹林や地形の保全

#### (田園)

- ・ 石垣を活かし、伝統的な白壁や和瓦屋根などを継承し、斜面林を保全することによる里山空間の継承


#### (市街地)


- ・ カーター通り周辺は白壁と黒瓦の屋根など伝統と自然環境と調和する建築物の色彩に配慮





## 2-3 景観タイプ別景観形成方針


景観タイプ別景観形成方針は以下のとおりです。

1. 山間景勝地	
	<p>河川を主体とした渓谷や滝に見られる景勝地の景観タイプ。地形の変化が多い山間部はそれぞれ独特の自然景観をみせています。県立自然公園に指定され、法的に守られているものもありますが、それ以外の地区においてもすばらしい景観が多数存在しています。観光、行楽のスポットとして、多くの来訪者に意識的に眺められる景観であり、良好な景観形成をすることにより市への観光客の誘致にもつながる景観タイプです。</p>
目 標 像	<b>景勝地を最大限に活かす景観形成</b>
景観形成方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 景勝地周辺の樹林や水源などの自然及び地形の保全</li> <li>一 県立自然公園などの景勝地、古墳群や城跡、寺社などの文化・歴史資源などを保全するとともに、優れた景観を創出する急峻な地形、山林や水源などを保全します。</li> </ul>


2. 山間道路	
	<p>山間地を貫く道路沿いの景観タイプ。三次市の旧町村の間は山で区切られており、隣町に行くには山間地域を越えていかななくてはなりません。よって、人々が山間を移動する途中でよく目にする景観です。景である豊かな樹林に対し、観が蛇行や上り下りを繰り返す、移動に伴う景観の変化が楽しめる景観タイプです。</p>
目 標 像	<b>自然環境・地形の変化を実感できる景観形成</b>
景観形成方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 元来の自然の姿である河川や樹林を含めた自然及び地形の保全</li> <li>一 自然環境への負荷の少ない道路整備とし、美しい自然景観を保全します。</li> <li>■ 統一されたデザインによる人工物の適切な配置</li> <li>一 人工物を配置する際は、背景となる山並みや河川などの視認性に配慮し、周辺景観との調和に配慮します。</li> </ul>

3. 山間集落	
	<p>山間地に存在する集落の景観タイプ。三次市には、わずかな平場や斜面を利用して集落を形成し、地形に応じて耕作地を整え、河川や樹林にとけ込むような暮らしの景観があります。土壁や石垣などの要素の節々にその特長が現れており、山々の自然と集落の共生する姿が特長の景観タイプです。</p>
目 標 像	<b>人と伝統が織りなす力強い景観形成</b>
景観形成方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 土壁や石垣、瓦など既存の要素を活かす景観形成</li> <li>一 伝統的な素材である土壁や石垣、赤瓦・黒瓦などの地域の特長ある要素を活かした、素朴で自然な景観を保全します。</li> <li>■ 存在感を抑えた、人にとって居心地のよい規模による人工物の配置と形状</li> </ul>


4. 田園集落	
	<p>田園地帯の基調をなす耕作地と民家を主体とする景観タイプ。地域の産業や暮らしを感じさせる重要な景観で、市街地から離れた周辺部のスタンダードなタイプでもあります。大規模な平野の少ない三次市では、農村集落は幹線道路や川沿いに形成されている場合が多く、道路などから見ることの多い景観タイプです。</p>
目 標 像	<p><b>四季の彩と開放的な里山景観の保全</b></p>
景観形成方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 存在感を抑えた、人にとって居心地のよい規模による人工物の配置と形状</li> <li>■ 土壁や石垣、瓦などの農村の暮らしぶりを伝える地域の特長ある要素を活かした集落づくり</li> <li>■ 広がりのある田園景観を体感できる場と機会づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 幹線道路沿道など、景観に影響を及ぼしやすい工場や商業施設などが立地する可能性のある地域では、土地利用や建築物などを適切に誘導し、美しい田園景観を保全します。</li> </ul> </li> <li>■ 落ち着いた、生活感のある里山風景の維持 <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 空間の構成の基本をなす自然や地形を保全し、広々とした良好な農地や棚田が織りなす美しい里山景観を保全します。</li> <li>－ 耕作放棄地の適切な管理などにより、農村生活景観を保全します。</li> </ul> </li> <li>■ 色のコントラストと調和を重視した色彩構成に配慮</li> </ul>

5. 玄関地区（市街地景観）	
	<p>鉄道駅やバスターミナル、幹線道路からの導入部など、街の玄関口となる景観タイプ。この地区は、来訪者をもてなす場所であり、ランドマークとなる施設や、案内サインなどの、ゲート機能を感じさせる景観が重要となります。屋外広告物などによって煩雑な印象ともなりやすい地区ですが、来訪者をもてなす三次らしさと、住民にとっての利便性が求められる地区です。</p>
目 標 像	<p><b>人のにぎわい・三次らしさを感じるもてなしの街並み形成</b></p>
景観形成方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 屋外広告物の形状や色彩、ファサードなど統一感のある街並み景観形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 玄関口として、もてなし、賑わいを創出するシンボル景観を形成します。特に鉄道駅前や幹線道路からの導入部などでは、屋外広告物の形状や色彩、ファサードなどに統一感を持たせるなどして、来訪者に居心地のよい印象を与える景観づくりとします。</li> </ul> </li> </ul>


**6. 歴 史 地 区 (市街地景観)**

	<p>街並みに歴史の面影を残す地区の景観タイプ。個性ある歴史の街並みは市民の文化を象徴し、観光資源ともなります。既存の街並みを活かしつつ、これらを積極的に保全・再生していくことが重要な地区です。</p>
<p>目 標 像</p>	<p><b>伝統・文化を感じる質の高い街並みの形成</b></p>
<p>景 観 形 成 方 針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 形や素材など歴史的「趣」を意識した景観形成             <ul style="list-style-type: none"> <li>－歴史的趣のある建築物が多く残る歴みち地区などでは、うだつ・木板や墨書による屋外広告物・格子窓などの特長的な景観要素を活かした空間形成を図ります。</li> </ul> </li> </ul>

**7. 文 化 ・ 交 流 拠 点 地 区 (市街地景観)**

	<p>新しく整備される地区の景観タイプ。憩いやレクリエーション、文化的な意味合いの強い地区で、まとまった規模での開発が行われます。周辺との調和を図りながら、地区内で統一された街並みを形成することが重要となる地区です。</p>
<p>目 標 像</p>	<p><b>洗練されたデザイン・緑あふれる明るい街並みの形成</b></p>
<p>景 観 形 成 方 針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ さわやかな、すがすがしいイメージを創り出すオープンな空間づくり             <ul style="list-style-type: none"> <li>－文化・レクリエーション施設の集積する酒屋地区などでは、伝統と未来が融合した新たなデザインを創出する景観形成をめざします。</li> </ul> </li> <li>■ 観光地としてのもてなしの空間の創出             <ul style="list-style-type: none"> <li>－統一されたデザインによる街並みと屋外広告物により、来訪者に居心地のよい印象を与える景観づくりとします。</li> </ul> </li> </ul>

**8. 住 宅 地 区 (市街地景観)**

	<p>地域住民の生活の場となる景観タイプ。日常生活を営む場として、市民の住宅と周辺の公共施設（道路や公園）により構成される地区で、市街地景観の中で広い面積を占めます。</p>
<p>目 標 像</p>	<p><b>潤いと落ち着きのある街並みの形成</b></p>
<p>景 観 形 成 方 針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 周辺環境と調和し、季節感のある空間づくり             <ul style="list-style-type: none"> <li>－伝統的な瓦屋根などの地域の特長ある要素を活かした住空間づくりと緑化を図ることにより、彩と潤いのある落ち着いた住宅地空間の形成を図ります。</li> </ul> </li> </ul>